



常世田 正樹 議員



### 定住の促進について

**問** 漁師の方から相談を受けた。漁業に興味関心を持ってもらうために漁業体験の受け入れを始めたが宿泊費用の負担が大きくなネットとなっている。居住支援をすることはできないか。

**答** 居住支援についてはニーズの把握や必要な支援の内容、空き家対策も含めての居住施設の調達、運営、管理等の検討を行う必要がある、先行事例の調査研究や関係部署との協議を行う。

**問** 官学連携による地域の課題解決、地域の活性化、大学生と関わりを持つことによる関係人口の増加等、大きなメリットになると思うが、近隣大学等と包括的連携協定を結ぶ予定はあるか。

**答** 現在、千葉工業大学との包括連携協定に向けて調整している。協定を結ぶことにより、大学側には学生の調査研究のために活躍する場所や機会を提供し、市は大学側から提供された高度な

知識や情報と専門的な人材を活用させてもらえる。また、大学生のような若い人材が地域と交流することにより、市民のコミュニティや事業所の活性化が図られることを期待している。

### 安全で快適な道路の整備について

**問** 昭和から平成にかけて開発された住宅地等の私道や側溝に老朽化や破損がみられる。放置すれば市民の生活に悪影響を与えらと思うが、市が修繕等に取り組む予定はないか。

**答** 私道と側溝の維持管理や補修等については、従来同様に地権者へお願いしたい。

**問** 私道の維持管理を行政が出さないのであれば「私道整備補助成事業補助金」の補助率及び補助限度額の引き上げの検討が必要であると思うが、見解を伺う。

**答** 近隣自治体では私道の助成では平成17年度から助成を行っており、平成25年度に上限額を引き上げる等、制度の拡充を図り、運用してきた。補助率の引き上げや補助限度額の見直しについては今後研究していく。

### その他の質問事項

○ 住居環境の充実について

### 旭市男女共同参画計画について

**問** これまでの計画策定方法と新しい計画の策定状況は。

**答** 策定の前年度に市民意識調査、策定年度には策定委員会を設置し専門部会を置き、関係課にヒアリングを実施。また、学識経験者や関係団体による推進懇話会の開催、パブコメにより市民から意見聴取し策定している。

**問** 第3次計画は抜本的な見直しが必要と考えるが、先進自治体の計画を参考にしながら今一度計画の見直しができないか。

**答** 第3次計画の策定については前計画からの進展を図るために市民意識調査の結果や近隣市等の計画を勘案しながら進めている。先進自治体の計画の中で参考にできる取り組み等あれば計画に取り入れられるか精査したい。

### 女性の就農・起業を増やす取り組み

**問** 女性の経営関与と収益の増加には相関関係があると言

われている。市の農業をさらに活性化していく為にも、女性の就農や起業、連携を増やす取り組みは。

**答** 市では性別にとらわれず就農希望する人を対象に支援を行っている。県ではアグリウーマンイノベーション事業を行っており、本年10月に農業女子交流会を開催予定。市としても協力していくことで女性農業者のネットワークづくりを応援していきたい。

### 放課後児童クラブのお弁当について

**問** こども家庭庁では、長期休業中におけるクラブの昼食支給について自治体へ検討を働きかけているが本市の検討状況は。

**答** 近隣市町の状況や、民間委託の可能性等について調査をしている。近隣でも様々な取り組みがある中で本市での実施が可能なか検討していきたい。

**問** 実施してもニーズに合わない。実施しては意味がない。昼食支給についてクラブ利用する保護者へ意識調査を行う予定は。

**答** 年に1度実施する利用者アンケートの中で、昼食提供についても調査を行いたいと思う。

### その他の質問事項

○ 自治体DX(こども政策DXについて)

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。